特定非営利活動法人

ほしのくま

発行：ＮＰＯ法人 星のくま
住所：雲仙市愛野町乙2336−1
TEL：0957−36−7575
FAX：0957−36−7576
URL：hoshinokuma.com
発行責任者：磯田 正也

ほのぼのと　しあわせになろう
のんびりと　くじけるな　まけるな！





「これからも一歩ずつ」

「特定非営利活動法人星のくま」も五年を過ぎ、今年の四月で六年目となります。開所時は二事業でしたが、現在三か所で十事業を運営する事が出来ているのは、これもひとえに「星のくま」の各事業をご利用して頂いている、利用者様、ご家族の皆様、地域の方々や関係諸団体の皆様方の温かいご支援やご指導の賜と深く感謝しております。

さて、開所からの五年間、理念や基本方針に基づいて「目標と使命」を持って、一歩ずつ事業を実施してきました。しかし平成三十年度の報酬改定や改正障がい者総合支援法では、成果主義や時間区分・児童報酬区分等の導入が行われ、今後の社会保障制度を考えると、次の五年間でも、障がい福祉分野は相当に変化していくことが予測されます。

そのような変化に一事業者として対応していくためには、まずは支援者の育成を行い、個々の成長を促しながら、支援力・サービスの質向上に繋げると共に、各事業所が現状を打破しながら特色ある活動と、地域社会のニーズに対応した貢献等を行う必要があると考えます。

ゆっくりとではありますが、一歩ずつ確実に成長し、必要とされる事業所となれるよう、今後も努力してまいります。

特定非営利活動法人　星のくま
理事長　磯田　正也

ワークセンターあいの

新年度あいさつ

「一歩ずつ前進を！」

「ワークセンターあいの」の就労継続支援B型事業は、昨年度の利用者平均工賃が一万五千円弱と一昨年よりも二十五％はアップしているものの、未だ県平均工賃には届いていません。今年度も十五％以上の工賃アップを目指す為には、各作業班の現状分析と作業効率のアップ及び新規取引先開拓が必要と思います。その為には、支援者がB型事業の本質理解と生産技術及び支援力向上を目指して、工賃アップに繋げていきます。

就労移行支援事業は、事業開始して二年半経過していますが、昨年度二件の職場実習を実施したのみで、未だ一名も一般就労ができていません。その為に、対象利用者さまへの支援プログラムの検討と、職場実習先の開拓等を行い、精神面や体力面等の向上を図りながら、平成三十年度には、一名以上の一般就職へ繋がるようにしていく事を目標として掲げていきます。

管理者　磯田　正也

春の陽気を楽しんで…お花見



桜とおやつはとても合うわ～



お隣の「ガイアの里」様の敷地内にご招待していただき、大きく綺麗な桜の木の下でお花見をしました。

おやつもいつもより一段と美味しく感じられ、普段、真剣に作業へ取り組む皆さんからはたくさんの笑顔と笑い声が聞かれ、楽しいひと時となりました。

☆新メンバー紹介☆

就労継続支援B型



志田陸さん

この春に諫早特別支援学校高等部を卒業しました。今後は短期入所を利用しながら、クルスの箱折り作業をミスなく折れることを目指して頑張ります。



就労移行支援



宮崎桃花さん

現在アイロンプレス作業に取り組みながら、将来就職を目指して頑張っています。社会人になりたくさんの人とふれあうことで、誰とでも親しくお話ができるようになりたいです。

お仕事を頑張っています

クルス箱折り作業



玉ねぎ加工作業



アイロンプレス作業



厨房作業



平成三十年度 職員紹介



利用者の皆さまと共に、作業のレベル向上と更なる工賃アップを目指して頑張りますので、今年度も何卒よろしくお願い致します。

今年度も4つの作業に取り組んでおり、毎日一生懸命に仕事を頑張っています。昨年度よりも更に仕事量や細かい作業が増えてきましたが、それと同時に皆さんの技術にも磨きがかかってきており、以前と比べ、一人ひとりが自信を持って取り組んでいると感じています。

仕事ができて「うれしい！たのしい！」と感じる事業所でありたいと思います。

ケアステーションあいの

新年度あいさつ

六年目を迎えた生活介護事業では、この春特別支援学校高等部より六名の卒業生を迎えることができました。改正障害者総合支援法が目指す「成果主義」に応えられるよう、新たな取り組みとして従来の活動班を「自立生活チーム」「作業班チーム」「創作チーム」「リハビリチーム」の四つのチームに再編して新たにスタートしました。中でも「自立生活チーム」は、高等部卒業生を中心に、働くことは基より、より豊かな自立生活が送れるよう社会体験や生活訓練的なメニューも積極的に取り入れていきます。その他のチームにつきましても、それぞれの目的を明確にし、充実したサービスの提供に努めます。

利用者のみなさんのニーズをしっかりと捉え、満足していただけるサービスを提供できるよう、自己研鑽を重ねながらスタッフ一同頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

管理者　田口　陽子

☆新メンバー紹介☆

新しく高等部卒業の方が、生活介護へやってきました。全体がフレッシュな雰囲気になり、とても賑やかな毎日になっています。





頑張ります！

いちご狩りへ Let's Go～！

４月２３日に加津佐町へ、いちご狩りに行ってきました。生憎の雨となり少人数での参加となりましたが、沢山摘むことができ、星のくまに戻ってみんなでパック詰めを行いました。

また昼食も遠足気分を味わうために、畳にみんな円になって座り、和気あいあいといただきました。おやつには、摘みたてのいちごをのせた特製フルーチェを作っておいしくいただきました。







職員紹介

管理者



田口 陽子

支援課長



平野 嘉子

自立生活チーム

高等部卒業生を主体とし、将来自立した社会生活を送るために活動します。



木嵜 民子



宅島 遥



中村 聡司

創作チーム

毎月のテーマを決め壁画作りや、店舗の商品作りを楽しみながら、指のリハビリも兼ね活動します。



塩見ゆかり



黒田千夏子



吉田 健人



本多 邦子



林 美佐子

作業チーム

お菓子箱折りや野菜の袋詰め、みかんの皮むきなどをします。より高い工賃をもらえるよう活動します。



林田 陽子



松尾 陵太



大久保英子



濱田 志帆



斧 麻由子



内田 一望



横尾かおり

リハビリチーム

健康・体力維持のため個々に合わせた運動法を取り入れ活動します。



石島 幸美



岩岡佐知子



平湯 眞由美



宮崎 一也



里見 規子

送迎担当

安心安全な送迎を行います。



鵜殿 彰博



荒木 幸一

短期入所

皆さまに快適に泊まってもらえるよう力を尽くします。



平山 由佳



白山 早苗



森岩 永子



勝矢眞由美

キッズステーションあいの

新年度あいさつ

ピカピカの新一年生を三名迎え、平成三十年度も子ども達の元気な声でスタートしました。一年前は玄関で大泣きしていた子が二年生に進級し、誇らしげに言った「一年生は泣くもんね」の名言にほっこりしながら、その成長に喜びを感じるとともに身の引き締まる思いです。

「家族に寄り添いながら、子どもの発達に応じた支援を行う」基本方針のもと、一人ひとりの子どもをより深く理解するために、積極的にご家族と関わり、日々の何気ない会話も大切にしながら支援に活かしていきたいと思います。また、アクティビティセンターあいのと協働し、ライフステージを見据えた支援をご家族と共に考えていきたいと思います。

子ども達の成長を楽しみに、スタッフ一同頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

管理者　田口　陽子

療育的支援

「こども」の発達に応じた支援を行います





学習支援

家庭学習への動機づけとなる支援を行います

社会体験

様々な社会体験を行うことで見聞を広め、公共のマナーを学びます





家族支援

障がいの受容に寄り添い、信頼される関係づくりに努めます

平成30年度職員紹介

管理者　田口　陽子



児童発達支援管理責任者　川井　由美



児童指導員　斧　麻由子



児童指導員　吉田　健人



児童指導員　平山　由佳



保育士　馬場　まゆみ



保育士　里見　規子



保育士　本多　邦子





送迎担当　八木　幹雄



送迎担当　荒木　友幸



5月の予定

- いちご狩り
- 図書館外出(愛のお話の部屋)



キッズステーションあいのお花見外出













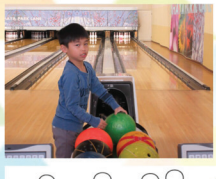
春といえば「桜」、桜といえば「春」、春の代名詞のような桜は、皆が愛する日本の風物詩です。

子どもたちも桜舞う中、お弁当とおやつを持ってお花見に出かけしました。写真を見てもわかるように、桜にも負けない満点の笑顔が咲き乱れる外出となりました。

ボウリング外出









春休みの一大イベントとして、ボウリング外出を行いました。今回の外出は、事前にボウリング場でのルールやマナーについて勉強を行いました。

当日は、子ども達ひとりひとり自分に合ったボールを選び、投げると上手にピンに当たりストライクやスペアを何度も出していました。お友達がする時には、「がんばれー！」と声をかけたり、ハイタッチしたりと仲間意識を深めることができた外出となりました。





アクティビティセンターあいの

日常生活訓練

日常生活の中で手段的な日常生活動作を身につけられる様な支援を行う



創作的活動

得意分野を生かし、主体的に活動を計画・実践することで成功体験を積み、生活の幅を広げる支援を行う









個別学習支援

学んだことを生活の中で実践力として応用できる様な支援を行う

家族支援

ライフステージを見据えた相談援助等の支援を行う



相談及び援助

児童及びその家族が希望する生活や児童の心身の状況等を把握し、相談・助言・援助等を行う

新年度あいさつ

四月より法人二か所目の放課後等デイサービス「アクティビティセンターあいの」を開所しました。子どもたちが自発的に考え、学び、行動する。療育的な支援のみならず、将来より豊かな社会生活を送るための訓練的な支援も取り入れていきます。

具体的には、これまで家庭や学校等で育み、学び、体験してきたことをベースに①手段的な日常動作を身につける②学習したことを生活の中で実践力として応用できる③得意分野を活かして成功体験を積み、生活の幅を広げる④コミュニケーションカを高める等々、特に地域で暮らすためのルールや仲間づくりの支援、余暇を充実して過ごすための支援については力を入れたいと考えております。

まだまだ手探り状態ですが、「将来のなりたい姿」をご家族と相談しながら進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

管理者　磯田　正也

平成30年度職員紹介

管理者
児童発達支援
管理責任者



磯田　正也

児童指導員



宮木　智子

児童指導員



東川　まゆみ

保育士



馬場　まゆみ

保育士



里見　規子

児童指導員



愛合　奈美

やさい作り

「アクティビティセンターあいの」の「アクティビティ」は、「自発的」という意味があり、どんなことに挑戦したいか聞いた時に、「野菜作り」をしてみたいという意見が上がりました。

ただ、野菜作りを始めるのではなく、作るためには、何が必要なのかなど、子どもたちで調べ計画を立て、植え付けを終えました。









創作活動



創作活動では、子ども達の五感をフル活用し、「アート」を意識した作品に挑戦しています。



今回は、太い糸で「ミサンガ」を作りました。みんなの作品をつなぎ合わせひとつの作品を作ろうと、キラキラと目を輝かせる子ども達。夏に完成を目指し頑張っています。

グループホーム星のくま1号館

新年度あいさつ

グループホーム星のくま一号館も五年目の春を迎え、特別支援学校高等部卒業生二名が入居されました。定員を増員し、これまでの六名の利用者様から八名となり、それに伴い、スタッフも増え、充実した配置でスタートしました。

本年度は、地域共生社会実現に向けて、障害福祉サービスの報酬改定等が実施され、共同生活援助事業関係の主な改定ポイントとしては、入居者の重度化、高齢化に対応するため、「日中サービス新創設」、「自立生活援助の報酬改定」等が行われました。この様な中、グループホーム星のくま一号館としましては、入居者の方々が地域の中で本人らしく普通に暮らせる様、寄り添い一人一人のニーズに耳に傾け、個々の自立度に合ったサービスの提供を目標に取り組みます。また、スタッフの支援力の強化と入居者の特性にあった居住の場の確保に向けてもスタッフ一同、協力して頑張りますのでよろしくお願い致します。

管理者　溝田　民弘

新メンバー！ ～ちょくげき！Q&A～



４月よりグループホーム星のくま１号館に諫早特別支援学校の高等部を卒業されました２名の利用者様、ワークセンターあいのとケアステーションあいのより職員２名が新メンバーとして加わりました。入居されました２名の利用者様は学生時代から星のくまの短期入所を利用されており、顔なじみの方々でもありますが、今回「心機一転！頑張ります！」と話す新メンバーに直撃インタビューをしてみました。

奥平さんから溝田さんへ



①休日は何をしてますか？
釣りや庭いじりをしてます！
②好きなテレビ番組は？
時代劇、スポーツ番組です。
③好きな歌は何ですか？
演歌とバラードです。



靖代さんから藤田さんへ



①いきなり！好きなアイスは？
チョコミント♪です。
②趣味はありますか？
紙細工です。



③私達へ一言！
早く仕事に慣れて、皆と一緒に楽しく過ごしたいです。

芽生さんから聖蘭さんへ



①好きな食べ物は？
夏限定ですが…スイカです！
②好きなテレビ番組は？
逃走中です。ドキドキがたまりません笑





③グループホームでやりたい事は？
皆で外出したり、今までできなかった事をたくさんしてみたいです！



大口さんから小宮さんへ



①好きなアイスは？
渋く…抹茶アイスです（笑）
②趣味は？
ナイトライダーを見る事！
③私達へ一言！
お友達になってください！







皆さん、よろしくお願いします★

平成30年度 職員紹介



管理者
溝田 民弘



世話人
平野 嘉子

よろしくお願いします





世話人
北尾 美紀



世話人
勝矢 眞由美



世話人
藤田 裕美子



生活支援員（栄養士）
高橋 亮子



生活支援員
上田 真知子



生活支援員
竹川 千代子



生活支援員
宮崎 一也



看護師
石島 幸美

日産 e-NV200 1年間の軌跡



昨年3月に、日産自動車株式会社さまより3年間無償貸与いただいた電気自動車『e-NV200』ですが、早いもので１年間が過ぎました。

最近では、この100%電気自動車にもすっかり慣れて、日々の送迎や行事などに活躍しています。

今回は、この１年間でどれくらいのエコを図れたのか、毎月メールで送られてくる「EVレポート」をもとに振り返ってみたいと思います。

1 総走行距離
『11,853km』
日本から南極大陸までと同距離！

2 総電費
『6.15kwh』燃費換算で42.2km/L
送迎に使用してこの電費！

3 総CO2削減量
『1,209kg』
杉の木85本が1年間に吸収するCO2量に相当！

「e-NV200」を1年間使用して実感したことは、運転する際に経済性のみではなく環境に対するエコ運転を意識するようになったことです。

今後も「非接触充電」や「バッテリーの効率化による航続距離の増加」など、利便性向上によって更なる普及期待される電気自動車に、一層の注目をしていきたいと思います。



GH星のくま1号館（共同生活援助・短期入所）　TEL0957-36-7575　FAX0957-36-7576

当ページの写真の一部は日産自動車株式会社ホームページより引用しております。引用元URL http://www.nissan.co.jp

２０１８ 星のくま運動会

3月１０日に「第3回　星のくま運動会」を開催いたしました。保護者の方をはじめ、たくさんのボランティアの方々にもご参加頂きました。そのおかげもあって今年もケガもなく、利用者様のたくさんの笑顔を見ることができました。ありがとうございました。

入場行進・選手宣誓





さぁ！頑張るぞ！

準備体操も大事！



徒競走





いちについてよ～いドンっ！

玉入れ





がんばらんば体操♪

大玉転がし



大玉ごろりん～





やったー★



的あて

うまく的をねらって～

パン食い競争



応援合戦



ボール運び



２人でピッタリ息を合わせてネ！

リレー



ダンス



エピカニクス



雫山市内の
お友達とレッツダンス♪



WAになって踊ろう♪





みんなかっこいい～！







赤組の優勝～！

パン食い競争



すくすくのおともだち♪

１番のりッ！



宝釣り



頑張ってくださ～い！







やったー★

２０１８ 星のくま運動会 ー番外編ー

今年もたくさんの保護者の皆様、ボランティアの皆様、他法人の皆様にご参加頂きました。そんな皆様のステキな一コマをまとめてみました♪



友達と…



家族と…



今年もありがとうございました



来年もよろしくお願いします

平成三十年度 辞令交付式

年度が改まった四月二日、例年より早い春の訪れが感じられる中、平成三十年度の辞令交付式を執り行いました。

今年度は総勢五十一名の職員が、理事長より一人ひとり辞令を交付され、「より質の高いサービスを追求するため」新たな支援体制のもと、新たな気持ちでスタートを切りました。

また、新年度にあたって理事長より、「福祉を取り巻く制度や環境が大きく変わっていく流れの中にあっても委縮することなく、利用者の皆さまの立場に立った支援を忘れず、いかなる時も基本に忠実で、かつ真摯な態度で職務に励んでほしい」との訓示がありました。

このように決意を新たに六回目の春を迎えた星のくまですが、常に皆さまの暖かいご支援に支えられていることを深く心に刻んで、これからも地域に根差した法人としてサービスを提供して参ります。







わの会・雲仙

今回の「わの会・雲仙」は、愛野ありあけ病院 作業療法士の吉原司先生を講師にお迎えし、統合失調症について勉強しました。

「統合失調症」は、名前はよく聞きますが改めて考えるとよく知らないことも多い病気です。吉原先生は、発症のメカニズムから実際患者さんと接する際に気を付けることまで、とても丁寧に教えて下さいました。特に「なるほど！」と得心したのは、統合失調症の方にみられる「情報過多」の状態を、「一度にたくさんのボールを投げられてもキャッチできないことと同じ（写真）」と、実際にボールを複数投げて説明されたところで、知識とイメージが強く結びついた瞬間でした。

「わの会 雲仙」とは？

雲仙市内の福祉事業所のネットワークを深め、福祉事業所で働く職員の情報共有の場作りを目的に、平成二十五年に法人間の垣根を超えて結成されました。毎回いろいろなテーマで研修会や交流会を開催しています。



四月一日に法人設立より年度初めの恒例行事となっている「猿場稲荷神社参拝」に行ってきました。

今年は一日が日曜日だったため職員を中心とした有志での参拝となりましたが、山頂にある本殿にて祝詞をあげていただき、今年度も利用者の皆さまが安全で健康に過ごせるよう祈願して参りました。



今後の予定

5月　バーベキュー大会

6月　蒜蒲見学　蓮見学

7月　七夕 小グループ活動

編集後記

冬の間に体にたまった毒素を抜いて夏に備えるとの意味で「春には苦みを盛れ」という言葉があります。ここでの苦みとは山菜のことですが、春の山菜には〝タラの芽〟や〝コシアブラ〟などアク抜きが簡単で美味しいものが多いのも魅力のひとつですね。散策ついでに上物を見つけたときなどはとても幸せな気持ちになります。

さて、今回の広報誌第９号は、六年目の春を迎えた星のくまの「今の姿」を中心に記事を掲載しています。フレッシュな面々も加わり一層にぎやかさを増した雰囲気を感じていただけたら幸いです。

星のくま　広報部

星のくまの”旬な話題”をお届け中!

星のくま ホームページ
http://hoshinokuma.com/

星のくま facebook
https://www.facebook.com/hoshinokuma.aino



facebook